

安全に関する改善事例

記入日: 2005年10月1日

(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

| ダム名 | 所在地県名 | 発注者 | 型式 | ダム諸元 | | |
|--|-------|------------|------------|-----------|---------|-----------------------|
| | | | | 堤高(m) | 堤頂長(m) | 堤体積(千m ³) |
| 長井ダム | 山形県 | 国土交通省 | G | 125.5m | 381m | 1,200 |
| 設計・施工区分 | 工種 | 想定される事故の種類 | 想定される事故の要因 | 危険作業の種類 | 設計変更の有無 | |
| 施工 | 仮設備工 | 墜落事故 | 設備要因 | 高所作業・作業環境 | 無 | |
| 改善の概要: | | | | | 特許の有無 | |
| ダム打設面で発生する排水は排水管により濁水プラントへ送水させる。従来この排水管は、大型枠の上をサクションホースなどでまたぎ堤体下流の排水管に接続し排水していた。この配管方法ではホース類が煩雑になり、また配管延長が高所作業となっていた。この排水管を堤体の外部コンクリート部に埋め込むことにより、高所作業がなく、ホース類がまとまり安全性、作業性が向上した。 | | | | | 無 | |

メリット:
 1. 外部面での縦配管がなくなり、設置・撤去、維持管理作業の安全性が向上。
 2. 大型枠スライド時にホースが支障とならない。
 3. 堤体面の排水箇所が多く取れ、ホースの取り回しが容易になった。

デメリット:
 1. 排水管使用終了後グラウト閉塞する必要がある。
 2. 異物の混入やスラッジ固化による閉塞に注意が必要。(端部水平管に常時清水を流している)

改善前 (略図または写真)

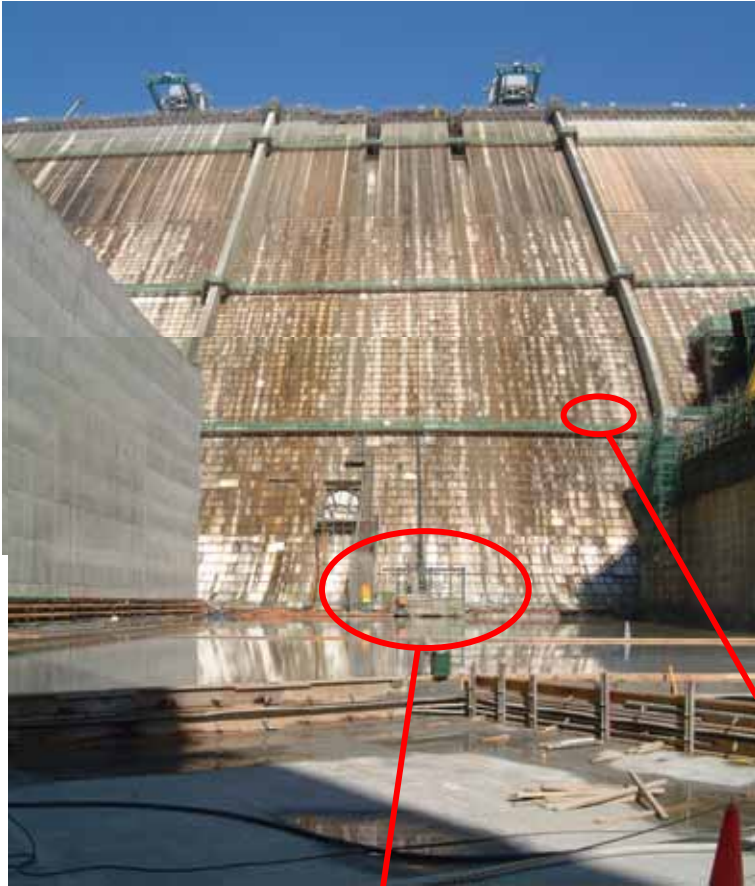


従来、排水管はダム下流面にプレスト管をワイヤーで吊るし延長していく方法などが行われていた。

改善後 (略図または写真)



6インチ排水管を外部コンクリート部に埋込む。配管は毎リフト毎に延長していく。



堤体下流面

排水配管を埋め込むことにより
配管が整理されシンプルになる
雪による配管破損も防げる
すっきりした工事中のダムの景観

堤体下流埋設管の出口部



埋込排水管は堤体下流釜場に
集められ、沈砂池へ送水する。